

2025 年度草の根市民基金・ぐらん 『都内草の根助成』 応募用紙

できるだけ手書きでなく入力をお願いします。(記述はこの 2 枚に収めてください。スケジュール、予算行のみ行追加可)

◆応募締切: 2025 年 11 月 3 日(火) Mail:23:59/郵送:締切日消印有効(簡易書留で送付して下さい)

◆応募宛先:information.grand@gmail.com か郵送:〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13ASK ビル 501 記入者氏名: 記入日 2025 年 月 日

申請番号:25T025		団体住所 〒1070061 東京都港区北青山 1-6-1-118	
団体名特定非営利活動法人スターズアーツ (略称:) スターズアーツ		Tel: 0354138055 Fax:	
代表者名	本宮透雄	URL:https://starsarts.or.jp Mail:takaokakazuhiro@starsarts.or.jp	
設立年	2022 年 8 月 2 日	会員数	67 名
連絡担当者	高岡和宏	活動エリア	全国 ・ <u>都内</u> ・ その他()
連絡先	〒1070061 東京都港区北青山 1-6-1-118 Tel 0354138055 Mail takaokakazuhiro@starsarts.or.jp 携帯 08046355829 注) 本欄にご記入いただいた連絡先へ連絡をします。必ず連絡のとれる宛先をお願いします。		
団体の目的 これまでの 成果と課題	<p>歴史上で起きた自然災害の被災証言を通し防災道徳に結びつけた語りを舞台化、企画構成し開催 歴史と言う記録に刻まれてしまうのを見過ごさず今後の自然災害の際に教訓として活かせるよう残された記録をアートの力を利用して発信し、次世代を担う人達に、自然災害から学ぶ危機管理と防災道徳や予防を行う活動を目的とする団体です 実績(成果)として産学官連携を構築し、設立以降は年 2 回のペースでエンタメ朗読公演(300~500 名規模)を毎年開催 この 1 年の主な活動としては、毎月「防災シンポジウム・意見交換会」を企画、毎月ゲストを迎え一般の方々との交流を開始 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひななく」にスターズアーツの活動「被災証言 東北民話 公演での朗読動画」がコンテンツとして正式に採用され 国立国会図書館アーカイブの中で公開・発信され防災コンテンツ、南海トラフ首都圏直下型地震の防災道徳コンテンツとして学習教育コンテンツとして活用され始めたところです</p>		
助成の対象となる活動・事業の趣旨と概要	<p>活動・事業名: 障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク(避難救済支援)シンポジウム</p> <p>近々で起こりうる自然災害(首都圏直下型・南海トラフ沖地震含む)が発生時、障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)の避難救済支援方法が定められていないことで「私たちの場合はどうしたらいいのか?」「行政や地域からどのような支援や救済があるのか?」など殆どの障害当事者や家族・関係者、年々急激に増えていっている高齢者の不安や心配は絶えることなく災害が起こった場合の不安で心配な日々を過ごしている 孤立してしまう障害当事者や年々増加の一方の高齢者 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワークの構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出・防災減災知識の取得や心構え・意識や知識の更なる向上のシンポジウム開催で不安解消と災害時に実施し救済する事、備えや準備を整えることを目的とする 障害当事者が自ら意識や考えて行動に移せる体制づくり、事業スタッフに参加することで障害当事者同士の共助にもなる、就労、雇用、社会参加にも繋がり展開していくことを期待したいとも考えてサポート出来ればと考えています</p>		
● 初年度活動スケジュール 2026 年 4 月~2027 年 3 月までの 1 年間のスケジュールを記入して下さい。			
年月	活動・事業など具体的実施内容		
4月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 有志メンバー募集 障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)交流会・防災シンポジウム開催 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区		
5月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 PR タイムス掲載 1 回目 障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)交流会・防災シン		

	ポジウム開催 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
6月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 PR タイムス掲載 2 回目 障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)交流会・防災シンポジウムの開催 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
7月	広報活動(各 SNS・チラシ・広告媒体・他)開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 各ボランティア団体・産学連携(福祉大学との連携締結)での専門員参加誘致と募集 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
8月	第一回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 8/30 開催 非常食の試食会 備蓄品の試飲や試食会 咀嚼流動食(特別食)などの紹介 非常食メーカーサンプル提供 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
9月	第二回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 9/27 開催 階段昇降機 重度身障者向け福祉用具設備の紹介や試乗・お試し 段差解消スロープ 福祉用具メーカー提供 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
10月	第三回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 10/25 開催 第一回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて簡易トイレ多目的タイプ組み立て・利用体験 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
11月	第四回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 11/22 開催 第二回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加) 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
12~1月	第五回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 12/20、1/24開催 第三回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加) 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区
2月	第七回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク(発災時の避難支援と救済手段と方法の構築)相談会/交流会 2/28 開催 第五回実際の体育館を借りて避難体験会(1泊)複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会(学生・社会人ボランティア参加) 宣伝広報募集は主に港区全域と近郊 23 区 開催場所(運営本部)は港区

助成事業と地域社会との関係性	<p>重度身体障害者の避難は現状、電動昇降機付きの特殊車両の手配や配車依頼、呼吸器装置やターミナル、緊急時切り替えバッテリー交換、電動ベッド、ドレーンなど重装備での移動、医療体制の確保、人手の確保は困難を極めていることは重々承知ではありますがあえて避難所までの移動や避難が出来るのかを実施してみる場として、検証する機会でもあり 行政が示している「事前に申請や申し出を」が災害発生時、緊急事態の時には現実には難しい厳しい事、理想論で済まされないことをこの体験会を通して経験することで「改めて何を何処まで用意し備えるべきか考える機会の場とする」のきづきの場と地域医療やボランティア団体、活動団体、行政(防災・障害福祉担当)、地域とのつながりを確認し自ら避難困難や助けを求められる関係の構築とつながりを作ることで 地域社会とのつながりや関係性を築いていく を目的としたいのと目指すことを目標としています</p>
----------------	--

<p>助成終了後に変化する団体や社会の状況・効果</p>	<p>「情報」や「予測や想定」ばかりで「実際には」の検証や実例経験がないのが問題です。重度障害者、障害者と健常者がいきなり出くわすからダメなのだと思います 地域社会において事前にお互いが認識していれば、我慢や協力が出来るはずでず あとは、自宅待機者がどうやったら救助してもらえるかなどの課題の切り口になることが今回の狙いです。この事業を実施することで自宅待機・避難困難者の救助について今後様々な民間救援サービスやシステム、行政の取組の仕組みの構築の一助になることと思います</p>																										
<p>助成後の事業継続性の見込み(主に資金面で)</p>	<p>現在、様々な企業や自治体が今後は独自の地域社会との「防災への備え・対策」を検討しスターズアーツに相談や打合せや意見交換会の連絡があります 警備会社から警備契約先での避難困難者の救助や避難について独自で有料での対応を検討しており、コンビニエンスストアや店舗オーナーからも緊急時には避難所そのものになる様には出来ないものか、高齢者施設は人材やスタッフが確保出来れば避難所になれる受け入れられる体制の確保が出来る、他 つまり緊急時、災害発生時などの「救援救助・避難支援」などが有料で受けられる安心を購入プラン申し込みで対応するシステムや流れが出来てくると予想されます 本助成事業の検証結果やシンポジウム参加実例や検証結果、引き続き開催される「障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク(避難救済支援)シンポジウム」が有料イベントとして企業側との契約や取組の組織化や座組を構築することで自主事業として展開と構築が見込め、出来ると考えています</p>																										
<p>当てはまる項目に○をつけて下さい</p>	<p>1.経常的な運営費の一部 2.事業立ち上げのための費用 3.両方</p>																										
<p>助成の対象となる活動・事業の費用項目と助成申請額</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>具体的内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>12 回分 1 回 3,000 円 バッジホルダ、簡易トイレ、おむつ、雑巾、筆記筆談セット、養生、テープ、ごみ処理、雑材</td> <td>36,000</td> </tr> <tr> <td>機材レンタル費</td> <td>12 回分 1 回 5,000 円 段差解消スロープ、フラット板、拡声機(マイク・スピーカー他)、机椅子、特殊ジャッキ工具</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>看護師諸謝金 (イベント看護センタ)</td> <td>4 回分 1 回 25,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>医師諸謝金 (イベント看護センタ)</td> <td>4 回分 1 回 50,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理費 (汚物・可燃不燃)</td> <td>12 分 1 回 2,000 円 有料ごみ袋 産業廃棄物処理代</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>ボランティア・医療有志 交通費</td> <td>8 回分 ボランティア 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円 と 8 回分 医療有志 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円(計 80 名) 有志参加交通費</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">助成申請総額 (50 万円以内。最少単位は千円で記入のこと)</td> <td>500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	具体的内容	金額	消耗品費	12 回分 1 回 3,000 円 バッジホルダ、簡易トイレ、おむつ、雑巾、筆記筆談セット、養生、テープ、ごみ処理、雑材	36,000	機材レンタル費	12 回分 1 回 5,000 円 段差解消スロープ、フラット板、拡声機(マイク・スピーカー他)、机椅子、特殊ジャッキ工具	60,000	看護師諸謝金 (イベント看護センタ)	4 回分 1 回 25,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応	100,000	医師諸謝金 (イベント看護センタ)	4 回分 1 回 50,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応	200,000	ごみ処理費 (汚物・可燃不燃)	12 分 1 回 2,000 円 有料ごみ袋 産業廃棄物処理代	24,000	ボランティア・医療有志 交通費	8 回分 ボランティア 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円 と 8 回分 医療有志 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円(計 80 名) 有志参加交通費	80,000	助成申請総額 (50 万円以内。最少単位は千円で記入のこと)		500,000 円		
項目	具体的内容	金額																									
消耗品費	12 回分 1 回 3,000 円 バッジホルダ、簡易トイレ、おむつ、雑巾、筆記筆談セット、養生、テープ、ごみ処理、雑材	36,000																									
機材レンタル費	12 回分 1 回 5,000 円 段差解消スロープ、フラット板、拡声機(マイク・スピーカー他)、机椅子、特殊ジャッキ工具	60,000																									
看護師諸謝金 (イベント看護センタ)	4 回分 1 回 25,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応	100,000																									
医師諸謝金 (イベント看護センタ)	4 回分 1 回 50,000 円 参加申し込み者への事前問診 検診、参加者バイタル確認、見守り、緊急時対応	200,000																									
ごみ処理費 (汚物・可燃不燃)	12 分 1 回 2,000 円 有料ごみ袋 産業廃棄物処理代	24,000																									
ボランティア・医療有志 交通費	8 回分 ボランティア 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円 と 8 回分 医療有志 1 回 5,000 円 1,000 円×5 名×8 回 40,000 円(計 80 名) 有志参加交通費	80,000																									
助成申請総額 (50 万円以内。最少単位は千円で記入のこと)		500,000 円																									

	※別途資金との併用など、補足説明が必要な場合こちらにご記入ください
--	-----------------------------------

*申請に必要な他の資料、送り先等の詳細は「都内草の根助成 2025 年度応募要項」をご確認ください。